

講習会のお知らせ

未だに機械業界が不況の中、多くのお客様が自社の業種に関わる製品の勉強会を開催されている事と思います。

弊社でも、より油圧シリンダへの理解を深めて頂き、さらに油圧シリンダに親しみを感じていただけますよう、色々な場所を訪れ、油圧シリンダの講習会を行っております。

ご興味がおありのお客様はぜひ、弊社営業所へご連絡ください。



講習会風景

『OA』と『FA』の融合

『情報システム』と言えば、コンピューターのソフトウェアで、事務処理を効率化する仕組みと一般的に知られています。近年では、パソコンを使って簡単に書類作成や集計分析が出来るようになったことで、情報システムは身近なものになってきました。また、プログラムを開発する上でも、インターネットで検索すれば、様々なサンプルや説明資料を取り寄せることができ、『やる気さえあればどうにかなる』ものになっています。

しかし、まだ情報システムは、事務作業の域から抜け出すことが出来ていません。事務作業とは、紙あるいはモニターに表示して人が目で確認する仕事ですが、人はその書類を見て何かの行動を起こします。例えば製造業の場合、その書類が作業指示書だったとしたら、作業指示書に記載されている情報に従って、機械を操作します。もしここで機械のセッティングが必要であるならば、NCプログラムを入れ替えるなど、決められた手順でセッティングを行います。

『ついうっかり…』のミスはこうした人が介在するときの判断ミスや思い込みによって発生します。FA（ファクトリーオートメーション）が進めば、一本化された情報に基いて、決められたルールで自動的に事が進むので、効率化が図られ、『ついうっかり…』のミスを防ぐことが

出来ます。

しかし、なかなかFA化は進みません。NC工作機械を導入する程度で、そのNC工作機械は“スタンドアロン”状態で、“ネットワークでつながれた”状態には程遠いのが現状ではないでしょうか。

なぜ?… 自動化するためのコストもさることながら、そこには、『コンピュータ屋さん』と、『生産技術屋さん』のセクショナリズムが介在します。

工作機械で使われるシーケンサーやタッチパネルはコンピューターそのもののなのに、OAと違った専門知識と経験が必要で、“コンピューター屋さん”には敷居が高いのが現実です。OAの業界ではコスト破壊が進んでいますが、この敷居の高さがFAのコストが高い原因でもあります。しかし、FAのOAライク化は日進月歩で進んでおり、OAの専門家が作業服姿で生産現場に足を踏み出せば、FAのコスト破壊も一気に進むのではないのでしょうか。



ホームページ

<http://www.horiuchi.co.jp>



本社 〒590-0824 大阪府堺市堺区老松町1丁37番地 TEL 072-241-1601 FAX 072-280-2026

鳳工場 〒101-0021 大阪府堺市西区上101番地
TEL 072-273-8180 FAX 072-260-2007

京都工場 〒101-0021 京都府綾部市城山町10番地
TEL 0773-43-1500 FAX 0773-40-2011

東京営業所 〒101-0021 東京都千代田区外神田5-2-2 セイキ第1ビル4F
TEL 03-5688-1991 FAX 03-5688-7576

大阪営業所 〒590-0972 大阪府堺市堺区竜神橋町1-2-16 山久ビル3F
TEL 072-221-5005 FAX 072-225-2261

名古屋営業所 〒465-0024 名古屋市名東区本郷2-160 IECビル5F
TEL 052-775-0271 FAX 052-769-1011

北関東営業所 〒373-0026 群馬県太田市東本町28-11 宮下ビル3F-D
TEL 0276-22-1911 FAX 0276-22-1912

南関東営業所 〒243-0003 神奈川県厚木市寿町3-1-1 ルリエ本厚木3F
TEL 046-295-3521 FAX 046-295-3520

広島営業所 〒730-0801 広島市中区寺町5番12号 板東ビル201号
TEL 082-234-7916 FAX 082-503-3483